

8月咲き短茎小菊(フチマム)の 出荷本数が 14 万本に！

湖北農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

湖北花き推進協議会では平成 22 年の短茎小菊（フチマム）の出荷本数が 11 万 9 千本（うち盆出荷 7 万 7 千本）と前年から倍増しました。昨年は猛暑により、お盆出荷時に開花遅延が起これ、市場の必要とする出荷量がなかなか集まらなかったため、市場からは出荷本数の拡大と安定出荷を要望されています。そこで、生産者個々が栽培状況を記録し、JA へ報告、当課がそれを集計し、市場へ正確な出荷情報を提示できるよう活動を行いました。

【普及活動の成果】

フチマムは花束加工業者向けの小菊です。特に 8 月お盆向けは最大の需要期のため、業者から出荷本数を 7 月中旬には報告してほしいという要望があります。不足分を他産地の小菊（ただし長茎のもの）で確保する必要があるからです。

市場に出荷本数と開花時期の正確な情報を伝えるために、生産者に右の様式を示し、生育状況を JA に報告する提案と、定期的な現地研修会を開催しました。

品種別の定植本数、定植日は 44 名が報告してこられましたが、草丈や分枝数は 32 名、蕾の見た日まで報告いただいたのは 5 名とだんだんと報告者が減ってきました。この原因は計測などの作業のわずらわしさ、報告の必要性が十分理解されていないといったことが考えられます。そこで、生育状況や蕾の把握は現地研修会時に JA と当課が行うことでカバーしました。

市場に報告した最終の予定出荷本数は 12 万 2 千本でしたが、実際は 14 万本となりました。ほぼ予定に近い数字を出荷できたことで加工業者から高い評価をいただきました。4 月当初は「そんな難しいことは無理や！」と二の足を踏まれていた生産者ですが、加工業者からの評価を聞き、計画的な出荷への理解も深まりました。

このような取り組みが部会として自主的に実施でき、定着するように支援を続けていきます。

氏名	滋賀 太郎				電話	〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇-〇〇〇〇
班長名					電話		FAX	
JA 営業販売課	電話	〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇-〇〇〇〇	担当者	〇〇		
報告日	5月 20日	6月 6日	6月 26日	7月 7日	7月 15日			
報告日	7月 25日	7月 31日	月 日	月 日	月 日	月 日		
平成 年度フチマムの生育状況(兼 生育記録)								
品種・色	秀光・黄色	小倉・黄色	友子・赤色	小紫・赤色				
定植日	5月 13日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
定植苗数	2,000本							
定植方法	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え	2条植え・3条植え
草丈① (6月 6日)	10 cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
草丈② (6月 25日)	25 cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
草丈③ (7月 5日)	35 cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
草丈④ (7月 25日)	60 cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
10株の合計立ち本数	36 本	本	本	本	本	本	本	本
つぼみの大きさ (7月 15日)	6 mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
開花の始まった日	7月 31日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
収穫開始日	8月 2日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
その他、記録事項(病害虫の発生状況、ほ場の管理状況等) 記入例 ○密閉挿し(4月20~22日に実施)、ただしその後の低温で発根が遅れ気味である。 ○梅雨明け後の猛暑の影響で、つぼみの発達が遅れている。畝間かん水を7月29日に行う。 ○猛暑で開花が遅れ市場価格は高騰するものの、開花が進んでこない。								